

第207回イタリア映画鑑賞会

入場無料

- 日 時：2023年10月2日(月)18:00開場／18:30開演(20:30頃終演予定)
- 会 場：あじびホール
(福岡市博多区下川端町3-1 福岡アジア美術館8階 / TEL 092-263-1100)
- 入 場 料：入場無料／先着100名様

※事前申込は不要です。直接会場へお越しください。なお、定員(100名)になり次第、締め切らせていただきます。

※やむを得ず、急遽上映作品の変更や鑑賞会を中止にする場合がございます。

第207回上映作品

『オリーブの下に平和はない Non c'è pace tra gli ulivi』

(1950年 98分 イタリア語/日本語字幕)

監 督／	ジュゼッペ・デ・サンティス
脚 本／	ジュゼッペ・デ・サンティス、ジャンニ・プッチーニ、カルロ・リッツァーニ
音 楽／	ゴッフレード・ペトラッシ
撮 影／	ピエロ・ボルタルーピ
美 術／	カルロ・エジーディ
編 集／	ガブリエーレ・ヴァッリアーレ
出 演／	ラフ・ヴァローネ、ルチア・ボゼー、ファルコ・ルツリ、 マリア・グラツィア・フランチャ

「にがい米」(1948年)のジュゼッペ・デ・サンティス監督の作品です。1917年2月11日、イタリア中部ラツィオ州ラティーナ県フォンディに生まれ、国立映画実験センター(1935年に設立された世界最古の映画学校)を卒業。雑誌「チネマ」に批評を執筆。ビスコンティやロッセリーニなど初期のネオレアリズモの脚本や助監督を務める。1947年に初監督した「荒野の抱擁」、1949年シルヴァーナ・マンガーノを主演にした二作目「にがい米」が世界的大ヒット。そして第三弾がこの「オリーブの下に平和はない」。

1954年「恋愛時代」、1956年「人間と狼」など50年代は秀作を発表するが、1960年「女の部屋」を最後に、その後は、日本では公開されていないが、ドキュメンタリーなどを残している。1997年、80歳でローマにて心臓発作のため死去。

この作品は、まるで実験映画の様なカットや面白い映像が沢山あり、なかなか目が離せない。第二次世界大戦後、イタリア中部チョチャリーア地方の丘陵地帯に復員した羊飼いの男は、村の地主に彼の羊も恋人も全て奪われた。村人は地主を恐れ、何も言わない。そして、彼の復讐劇が始まる。不思議な映像をお楽しみください。(解説 湯越 勘一)

《お問合せ先》 福岡日伊協会 事務局 渡・本村・清家
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-3-6 西日本シティ銀行内
TEL: 092-476-2153 / FAX: 092-476-2634
E-mail: aigfukuoka2@galaxy.ocn.ne.jp